

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年5月25日（第1.0版）

承認番号	26008
課題名	救命救急センターにおける早期離床プログラムの再構築 看護診断を活用した看護師主体のリハビリテーションへの取り組みと課題ー
研究期間	西暦 2026 年 5 月 25 日（実施許可日） ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	・2026年11月調査時点で救命救急センターに所属している看護スタッフ44名
利用する試料・情報の種類	☐ 診療情報（詳細： ） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☒ その他（2025 年 11 月と 2026 年 3 月に実施した、早期離床に関するアンケート（無記名式））
利用予定日	開始日：実施許可日後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	アンケート結果や既存の看護記録から、早期リハビリテーションに関する取り組みの効果を明らかにするとともに、今後の課題を検討することを目的としています。この研究で得られた知見により、早期からのリハビリテーション実施を継続することは、救急領域における患者の ADL 低下を防ぎ、退院後の QOL(Quality of Life：生活の質) に大きな影響を及ぼす可能性があります。
研究の方法	看護師を対象とした早期離床プログラムに関するアンケート（無記名式）を取り組みの前後で行います。その結果は前後比較し、看護師のリハビリテーションに対する意識の変化を調査します。また、リハビリテーションに関する看護計画が立案されているか、実際に患者さんにリハビリテーションが実施されているかについても調査し、今後の課題について考察します。
その他	関連学会で報告する可能性があります。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および連絡先： 研究責任者 廣田郁代 旭川医科大学病院 救命救急センター 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 連絡先：0166-69-3715 内線 3715